

吉永北地区

生涯学習推進会

人口：2,937人 世帯数：1,172世帯 (平成31年1月1日現在)



スローガン
キャッチフレーズ

子どもたちを行事に取り込め!



会長 山本 智澄

沿革

吉永北地区は愛鷹山と富士山の合間を流れる赤淵川流域に発達し、古くは平安時代からの歴史を有する地区です。

南から間門・鶴無ヶ淵(1、2)・石井・桑崎・勢子辻の古くからの良き伝統と歴史のある6町内と、昭和50年代に造成された若く活気のある陽光台西・南・東の3町内とが融合する地区です。

吉永北のみどころ

富士市のあけぼのは当地区の間門峰山遺跡とされ、1万5千年の歴史を有します。

標高130メートル～750メートルほどの高地で風光明媚な地区です。ゆずりあい助け合いの心をもったまちづくりを目指しています。

吉永北地区の中でも北部にある桑崎地区には、風を祭る「風神社」があります。

その昔、風の通り道だったこの吉永北地区では風害が多く農民を苦しめていました。

吉永北地区を見渡すように建つこの風神社は、天保大飢饉の際に風水害の防止と五穀豊穡を祈願して天保8年(1837年)に建立されました。

その後、長い長い間人目にも触れず山の中でひっそりと皆を守ってくださっていましたが、平成14年に、吉永北地区の皆さんの力をもってこの風神社を祭る、「風の宮まつり」が復活しました。

古くからの歴史のあるこの地区のその歴史と伝統を若い世代に伝えるのも、新しくこの地区に仲間入りした世代の方々に伝えていくことも、ここで生活して活動していくうえで大切なことのように思います。



生涯学習の活動

平成23年の新東名の一部開通に伴い吉永北地区でも多くの周辺道路が整備され、地区内に信号が出来ました。

道路が整備されたことで交通量が増え、悲しい交通事故も起きてしまいましたが、年々減少する子どもたちにとって、「魅力のある地区」「帰りたくなる地区」「出ていきたくない地区」そんな地区になるために 私たちに出来ることはどんな事かと模索しながら行事に取り組み、そして、特色のある伝統文化を次世代へ伝えようと地域全体で取り組んでいます。

総務部

部長経験者・支部長経験者からなる総務は、すべての行事において各部長のフォローが出来るようにいつも万全の体制で待機しています。

そんな中、青少年育成部の小中学生と語る会で出された子どもたちの「おまつり復活して!」の意見を元に、まちづくり協議会と連携・相談の結果、4年越しではありましたが平成29年夏「新生 夏フェスタ」として生まれ変わり「子どもたちを行事に取り込め!作戦①」はボランティアだけでなくステージ発表を始め、出店にも中高生が力を発揮し子どもたちが夏フェスタを大いに盛り上げてくれました。



青少年育成部

小学生・中学生に地区の行事に積極的に参加してもらえよう「子どもたちを行事に取り込め!作戦②」としてボランティア募集を行って一緒に行事を作っています。

育成部の主な行事としては健全育成に関わる「講演会」の開催と地区の子どもたちの意見を聞く「小中学生と語る会」があります。

平成29年の夏この語る会での子どもたちの意見から復活した夏フェスタ in Yoshinagakitaの開催にこぎつけました。

近年は講演会をテレビ静岡で放映されている「テレビ寺子屋」の収録にもチャレンジ。地区の皆さんだけでなく、広く地区外からもご参加いただきました。



成人教育部

主な行事としては文化祭があります。

文化祭の名にふさわしく自信作を展示したり、得意な踊りや音楽を披露したり、子ども会や婦人会など各団体と協力をしています。また、たくさんの模擬店の出店があります。

「子どもたちを行事に取り込め!作戦③」として文化祭では、中学生だけでなく、小学生ボランティアさんもゴミバスターとして会場内の見回りに力を貸してくれています。

小学生や中学生の舞台出演者も現れるようになりました。そして、もうひとつ成人教育部の行事として「美術館旅行」があります。美術館で目と心をいっぱいにし、美味しいランチでお腹もいっぱい出来るというとてもお得なバス旅行です。



体育保健部

体育保健部は盛り沢山の行事を抱えています。主な行事の体育祭において「子どもたちを行事に取り込め!作戦④」今まで役員だけが走り回っていた審判・放送・準備など中学生が元気に走り回ってくれることで体育祭に活気が出てきました。

委託スポーツでは大人も子どもも一緒になって新しいスポーツにチャレンジし、グラウンドゴルフ大会では上位はいつも人生の先輩方ではありますが、小さな子どもも中くらいの子どものも、働き盛りの男性も子育て真っ只中の女性も第一線は引退した皆さんも誰もが参加してそして楽しんでもらえることが出来るような行事を目指しています。



安全教育部

春夏秋冬の交通安全運動期間中の啓発活動のほか、各行事では駐車場係や交通整理など、裏方仕事ではありますが大きな行事から小さな行事に至るまですべての行事に関わって活動しているのが安全教育部です。

そんな中、独自の行事として「あるけあるけ大会」と「普通救命講習」の開催があります。

あるけあるけ大会では初夏の空気を感じるだけでなく、ゴミ袋を片手にお掃除ボランティアをしています。

そして「子どもたちを行事に取り込め!作戦⑤」として、救命救急講習に中学3年生に参加を呼びかけ、真剣に講習を受けてくれて、大きな成果がありました。

